

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	ヤマザキ動物看護大学
設置者名	学校法人ヤマザキ学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
動物看護	動物看護学科動物看護学専攻	夜・通信	13	13	17	30	13	
	動物看護学科動物人間関係学専攻	夜・通信			20	33	13	
(備考) 各専攻のみに開講している専門科目においても、他専攻者が履修することを可能としている。								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて「シラバス」を公開。 「シラバス」の中で、「実務経験のある教員等による授業科目」を各専攻別（動物看護学専攻 P2～P3 及び動物人間関係学専攻 P7～P8）に掲載。 http://univ.yamazaki.ac.jp/univ/student/
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	ヤマザキ動物看護大学
設置者名	学校法人ヤマザキ学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HP「事業報告」の各年度別「事業報告」にて理事名簿を公開している。 https://yamazaki.ac.jp/img/business/riji2019.pdf
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	財団法人 理事長	2019(平成31)年 4月1日～ 2022(令和4)年 3月31日	常務理事 (総務担当)
非常勤	編集者	2019(平成31)年 4月1日～ 2022(令和4)年 3月31日	法人経営・運営に係るチェック機能
非常勤	耳鼻咽喉科医院 院長	2019(平成31)年 4月1日～ 2022(令和4)年 3月31日	法人経営・運営に係るチェック機能
非常勤	元大学教授	2019(平成31)年 4月1日～ 2022(令和4)年 3月31日	法人経営・運営に係るチェック機能
非常勤	設計事務所 代表取締役	2019(平成31)年 4月1日～ 2022(令和4)年 3月31日	法人経営・運営に係るチェック機能
非常勤	服飾デザイナー	2019(平成31)年 4月1日～ 2022(令和4)年 3月31日	法人経営・運営に係るチェック機能
非常勤	不動産鑑定所 取締役	2019(平成31)年 4月1日～ 2022(令和4)年 3月31日	法人経営・運営に係るチェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	ヤマザキ動物看護大学
設置者名	学校法人ヤマザキ学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【作成について】</p> <p>各授業科目に関しては、毎年度、教務委員会及び教務委員会にて決定した第三者チェック担当委員(教員)によるチェックを実施し、適正でないシラバスは、修正指示の下、科目担当教員が修正を行い、全科目のシラバスが適正な状況となった段階で、冊子「履修ガイド&シラバス」を作成している。</p> <p>授業担当教員に授業計画のフォームを電子メールで送付し教員が作成後、事務担当者に返信してもらう形式をとっている。オムニバス科目に関しては、主担当が他の教員を取りまとめて完成させている。</p> <p>【時期について】</p> <p>授業計画は前年度の11月ごろより科目担当教員に作成の依頼をし、年明け3月上旬を目途に完成させている。授業計画は毎年冊子を作成し、入学時のオリエンテーションで学生、科目担当教員及び関係部署に配布している。また4月上旬に、翌年度分シラバスをホームページ上に公開している。</p>	
授業計画書の公表方法	掲載： http://univ.yamazaki.ac.jp/univ/student/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>履修規程及び各科目シラバスに記載の「評価方法」により、科目担当者が履修学生の成績を評価する。その後、学期末に開催される単位認定会議(全専任教員にて構成された会議)及び教授会にて、当該期の全履修者の成績について審議・承認し、単位を授与している。</p> <p>(参考)</p> <p>(成績評価)</p> <p>第17条 履修科目の成績は、試験、追試験又は再試験の成績、授業への参加度、平常の学習状況等を勘案して、各担当者が総合評価する。</p> <p>2 成績評価は、次の5段階とし、S、A、B及びCを合格、Dを不合格とする。</p> <p>100点～90点 S</p> <p>89点～80点 A</p> <p>79点～70点 B</p> <p>69点～60点 C</p> <p>59点以下 D</p> <p>3 再試験を経た場合の成績評価は、定期試験合格者の最低評価を超えないこととする。</p> <p>4 Dは、合格に達しない成績評価、評価に値しない成績評価とする。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

① 履修規程により、成績評価、判定及びGP (Grade Point) は次のとおりとなっている。

評 定	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下
評 価	S	A	B	C	D
判 定	合 格				不合格
G P	4	3	2	1	0

②GPAの計算方法

$$\frac{S \text{ の単位数} \times 4 + A \text{ の単位数} \times 3 + B \text{ の単位数} \times 2 + C \text{ の単位数} \times 1}{\text{履修登録単位数}}$$

履修登録単位数

なお、GPAの算出は評価が「認定」となる科目を除き、全ての科目が対象

(参考)

(GPA)

第18条 学業成績を総合的に判断する指標として、評定平均値 (Grade Point Average 以下「GPA」という。) を用いる。

2 GPAは、授業科目の成績評価について、Sに4、Aに3、Bに2、Cに1、Dに0を評価点として与え、各授業科目の評価点にその単位数を乗じて得た積の合計を、授業科目の総履修登録単位数で除して算出する。

なお、GPAの算出においては、成績評価が「認定」と表記された科目の単位数を含めないものとする。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

掲載：<http://univ.yamazaki.ac.jp/univ/student/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

①ディプロマ・ポリシー (卒業認定及び学士の学位授与に関する方針)

修業年限以上在籍し、所定の単位数を修得した学生に対して、卒業を認定し、学士(動物看護学)の学位を授与する。

本学の動物看護学教育では、動物看護学および動物人間関係学の2専攻を設置し、それぞれの特徴を活かした学修により、基本的理論・技術を修得し、教育目標である生命を尊重する倫理観および幅広い視野と課題解決能力を身に付け、人と動物との架け橋として社会に貢献する学生に対し、学士(動物看護学)を授与する。

②卒業要件 (学則第22条抜粋)

(卒業単位数)

第22条 本学を卒業するためには、次の各号により合計124単位以上の履修をしなければならない。

(1) 教養教育科目 34単位以上

(2) 専門教育科目 90単位以上

③卒業判定

学則第37条に則り、各科目シラバスに記載の「評価方法」に準じて、科目担当者が履修学生の成績を評価し、学期末に開催される単位認定・卒業判定会議(全専任教員にて構成された会議)及び教授会にて審議・承認され、卒業要件を満たした学生について、学長が卒業を認定している。

(参考)

(卒業の認定)

第37条 本学に4年以上在学(編入学等により入学した学生については、別に定める年限)し、本学則に定める授業科目の中から教養教育科目34単位以上及び専門教育科目90単位以上併せて124単位以上修得した者については、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定する。

2 前項による卒業認定は、学年末に行う。やむを得ない理由により、この認定を得られなかった者については、次年度前期にこれを行うことができる。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

掲載:

<http://univ.yamazaki.ac.jp/univ/about/policy.html>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	ヤマザキ動物看護大学
設置者名	学校法人ヤマザキ学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	HP「事業報告」にて公開している。 https://yamazaki.ac.jp/business/
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告(書)	同上

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: http://univ.yamazaki.ac.jp/univ/public.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: http://univ.yamazaki.ac.jp/univ/public.html

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 動物看護学部
教育研究上の目的 (公表方法： http://univ.yamazaki.ac.jp/univ/about/)
(概要) 【建学の精神】 「生命への畏敬」「職業人としての自立」 地球上に存在する多種多様な生命に対し尊敬の念を持ち、限りない愛を注ぎ、人と動物の共生する平和な社会の構築に寄与するために、職業人としての豊かな人間性と幅広い視野を身につける。 【教育理念】 「生命(いのち)を生きる」 建学の精神に則り、本学の教育は「生命の教育」を基盤とする。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： http://univ.yamazaki.ac.jp/univ/about/policy.html)
(概要) ディプロマ・ポリシー(卒業認定及び学士の学位授与に関する方針) 本学が定めるディプロマ・ポリシーは、以下のとおりである。 修業年限以上在籍し、所定の単位数を修得した学生に対して、卒業を認定し、学士(動物看護学)の学位を授与する。本学の動物看護学教育では、動物看護学および動物人間関係学の2専攻を設置し、それぞれの特徴を活かした学修により、基本的理論・技術を修得し、教育目標である生命を尊重する倫理観および幅広い視野と課題解決能力を身に付け、人と動物との架け橋として社会に貢献する学生に対し、学士(動物看護学)を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： http://univ.yamazaki.ac.jp/univ/about/policy.html)
(概要) カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針) 本学が定めるカリキュラム・ポリシーは、以下のとおりである。 本学では「動物看護学専攻」および「動物人間関係学専攻」において、動物愛護の精神に則り人と動物の共生の思想と倫理観を身に付けることが不可欠であり、以下のような教養教育及び専門教育課程を編成し実施している。 ・ 教養教育科目では、人と動物の共生に求められる豊かな人間性と幅広い視野を養う。 ・ 専門教育科目は、専門基礎科目と専門科目と総合科目から編成される。専門基礎科目では、教育の質を保証するために、すべての科目を必修としている。専門科目は、学生の興味や進路に配慮して、動物看護学専攻および動物人間関係学専攻においてそれぞれの特色を生かした科目で編成される。なお、実習科目は、講義科目に対応させ、1年次から4年次まで段階的に受講するよう編成している。総合科目は、コミュニケーション能力、および時代に即したトピックを学修するための科目として、アッセンブリーアワーⅠ(動物と看護)、Ⅱ(動物と環境)、Ⅲ(動物と職業)、Ⅳ(動物と社会)を配している。 以上の課程の修得により、課題解決能力等の涵養、および社会人としての基礎力の構築に努め、4年次の卒業論文では、研究室制度により個々のテーマに基づく研究成果をまとめるとともに、少人数体制での人間形成を行う。

<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：http://univ.yamazaki.ac.jp/univ/about/policy.html)</p>
<p>(概要) アドミッション・ポリシー (入学者受入方針) 本学が求める学生像は、人と動物の架け橋になる者であり、本学が定めるアドミッション・ポリシーは以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 本学の建学の精神および教育理念に共感する者。 (2) 動物に深い理解と愛情を持ち、人と動物の共生を目指す者。 (3) 動物看護学または動物人間関係学の修得能力を持つ者。 (4) 社会の一員として、国際的な視野に立ち、コミュニケーションを大切にする者。 (5) 自ら学び、解決策を見出すための努力ができる者。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法： http://univ.yamazaki.ac.jp/univ/about/course/

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数 (本務者)							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
動物看護	—	14人	2人	7人	3人	15人	41人
b. 教員数 (兼務者)							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		37人					37人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： 【学位】 http://univ.yamazaki.ac.jp/univ/about/course/teachers_list.html 【業績】 https://www.acoffice.jp/yguhp/KgApp?courc=0111 【刊行物】：「ヤマザキ動物看護大学年報」 【入手方法】：希望者に配布					
c. FD (ファカルティ・ディベロップメント) の状況 (任意記載事項)							
平成30年度は、本学にてFD主催講演会を4回開催した。 第1回 教育の質保証について 第2回 本学学生の友人関係に関する特徴、対応について 第3回 学校におけるハラスメントについて 第4回 ドイツ・オランダ動物保護施設視察の報告 また、文部科学省科学研究費申請前に採択率を高める目的で、教員に対して申請書の記載方法などの説明会を2回開催した。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
動物看護	180人	218人	121%	720人	720人	100%	若干名	4人
合計	180人	218人	121%	720人	720人	100%	若干名	4人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
動物看護	148人 (100%)	1人 (0.7%)	127人 (85.8%)	20人 (13.5%)
合計	148人 (100%)	1人 (0.7%)	127人 (85.8%)	20人 (13.5%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
①株式会社日本動物高度医療センター、②ジャペル株式会社				
③共立製薬株式会社、④イオンペット株式会社、⑤株式会社セラヴィリゾート泉郷				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
動物看護	173人 (100%)	141人 (81.5%)	6人 (3.5%)	24人 (13.9%)	2人 (1.2%)
合計	173人 (100%)	141人 (81.5%)	6人 (3.5%)	24人 (13.9%)	2人 (1.2%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
次のとおりシラバスを作成し、公表・実施している。
授業担当教員に授業計画のフォームを電子メールで送付し教員が作成後、事務担当者に返信してもらう形式をとっている。オムニバス科目に関しては、主担当が他の教員を取りまとめて完成させている。
授業計画は前年度の11月ごろより科目担当教員に作成の依頼をし、年明け3月上旬を目途に完成させている。授業計画は毎年冊子を作成し、入学時のオリエンテーションで学生、科目担当教員及び関係部署に配布している。また4月上旬に、翌年度分シラバスをホームページ上に公開している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

① 履修登録単位数の上限設定 (CAP 制)

1 学期ごとの履修単位数の上限を 22 単位として、適切な学修時間を確保することとしている。

ただし、履修単位数に含めない科目を一部設けている。

② 成績評価、判定及び GP (Grade Point) は次のとおり。

評 定	100～90 点	89～80 点	79～70 点	69～60 点	59 点以下
評 価	S	A	B	C	D
判 定	合 格				不合格
G P	4	3	2	1	0

③ GPA の計算方法

$$\frac{S \text{ の単位数} \times 4 + A \text{ の単位数} \times 3 + B \text{ の単位数} \times 2 + C \text{ の単位数} \times 1}{\text{履修登録単位数}}$$

なお、GPA の算出は評価が「認定」となる科目を除き、全ての科目が対象

上記に基づき、半期ごとに GPA を算出し、ひとつの学期における GPA が 1.0 未満の学生については、クラスアドバイザー及びアシスタントアドバイザーから注意と学修指導を行い、1.0 未満の学期が 2 回以上連続した場合は、クラスアドバイザー及びアシスタントアドバイザーから、学生及び保証人と 4 者で話し合いを実施し、注意と学修指導を行っている。

④ 卒業判定

学則第 37 条に則り、シラバス記載の「評価方法」に準じて、教員から提出された評価を基に、学期末に開催される卒業判定会議（全専任教員にて構成された会議）及び教授会にて審議・承認され、単位を授与し、学長が卒業を認定している。

(参考)

(卒業の認定)

第 37 条 本学に 4 年以上在学（編入学等により入学した学生については、別に定める年限）し、本学則に定める授業科目の中から教養教育科目 34 単位以上及び専門教育科目 90 単位以上併せて 124 単位以上修得した者については、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定する。

2 前項による卒業認定は、学年末に行う。やむを得ない理由により、この認定を得られなかった者については、次年度前期にこれを行うことができる。

学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
動物看護	動物看護	124 単位	有	44 単位/年
GPA の活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法： <キャンパス紹介> http://univ.yamazaki.ac.jp/univ/about/campus.html <大学関連施設> http://univ.yamazaki.ac.jp/univ/kyouiku-support/facility.html
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
動物看護	動物看護	900,000 円	150,000 円	550,000 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>1. クラスアドバイザー制度 専任教員がクラスアドバイザーとして各クラスを担当し、学年主任、副主任、アシスタントアドバイザーが連携して、学生からの履修相談、履修指導・助言の他、学生生活全般についての相談にきめ細かく応じる。 また、半期ごとに GPA を算出し、ひとつの学期における GPA が 1.0 未満の学生については、クラスアドバイザー及びアシスタントアドバイザーから注意と学修指導を行い、1.0 未満の学期が 2 回以上連続した場合は、クラスアドバイザー及びアシスタントアドバイザーから、学生及び保証人と 4 者で話し合いを実施し、注意と学修指導を行っている。</p> <p>2. オフィスアワー 専任教員は毎週授業 2 コマ分に相当する時間をオフィスアワーとし、学生からの相談等を受ける。</p>
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>就職支援プログラム (4つの大きな連携体制)</p> <p>一人ひとりの就職希望を実現するため、就職委員会＋就職支援課＋クラスアドバイザー (アシスタントアドバイザー) ＋卒業論文指導担当教員が連携して、きめ細やかな個別支援に努めています。 就職支援課は、学生の相談窓口として対応しています。また、本学教職員で構成する就職委員会や学生を一番身近で指導しているクラスアドバイザー (担任) や、卒業論文指導担当教員との連携により、きめ細やかな個別支援に努めています。 入学時から卒業までの 4 年間を通し、インターンシップ・就職支援講座・企業説明会などを実施するほか、本学の教育やネットワークを活かしサポートしています。</p> <p>1 年次 (社会人に必要な基本的スキルを修得) 就職意識調査を実施。“就職とは、社会人とは”について考える。また、社会人として求められる文章力、読解力等のスキルを身につけ、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力向上をめざした、マナー講座を開講。</p> <p>2 年次 (自己分析・自己理解を深め、職業について知る) 業界研究、企業研究、自己分析等の講座を開講。自分自身を分析することで、将来への目的・ビジョンを明確化させる。夏休みを利用したインターンシップなどを通して職業観を育成し、進路について考える。「キャリアマネジメント入門」授業で職業適性テストを</p>

実施。

3年次（就職活動の実践的な能力を身につける）

学内で複数回実施される業界研究・合同企業説明会へ積極的に参加し、視野を広げて就職を考える。「インターンシップ」授業では対策講座を受講した上で企業や動物病院での就業体験を行う。動物看護学専攻では動物病院実習（必修）を実施。「キャリアマネジメント演習」授業開講。

4年次（就職決定力をつける）

履歴書、エントリーシート等の試験対策支援、模擬面接支援、就職活動状況調査を実施し、円滑に活動ができるよう支援を行う。就職活動継続者については引き続き学園のネットワークを活かしてサポートを行う。3年次同様「インターンシップ」授業開講。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

（概要）

1. 学生相談室

毎週月曜日及び隔週金曜日に、カウンセラー（臨床心理士・公認心理師）が、学生が自分らしく成長することをサポートしている。

また、個人情報保護を遵守し、人間関係・学業や進路、心身の健康や家庭などについて一緒に考え、学生それぞれの特性を生かし、次のステップへと安心して踏み出せるようサポートしている。

2. 医務室

医務室には授業日の月曜日から金曜日の10:00～17:00まで、看護師が常駐し、体調不良学生の休養の場としている他、健康相談に応じている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<http://univ.yamazaki.ac.jp/univ/public.html>